Course nun	U-L	.AS06 200)35 SJ4	3							
Course title (and course title in English)環境経済・政策論基礎ゼミナール Introductory Seminar on Environmental Economics and PolicyInstructor's name, job title, and department of affiliationGraduate School of Human and Environ Professor, ASANO KOUT											
Group Hur	nanitie	s and S	ocial Scie	nces	Field(Classification) Jurisprudence, Politics and Economics(Issue)						onomics(Issues)
Language of instruction	ese			Old group G		Group A	Number of c		redits	2	
Number of weekly time blocks	1		Class sty		ninar ace-to-1	face cou	urse)	Yea	ar/semesters	2025 · S	Second semester
Days and periods	Wed.5			Targe	t year	All stud	lents	Elig	jible students	For all	l majors
[Overview and purpose of the course]											
様々な領域で実施されている環境政策に関して、その必要性や評価軸を標準的な教科書を輪読する ことによって学ぶ。また、環境経済の基本原理や環境政策の実際の形成過程を理解することを通じ て、良き環境政策のありかたを考究する。											
[Course objectives]											
環境経済学や環境政策論の基礎的概念とそれを用いた環境政策分析の手法を修得し、幅広い環境問 題の理解に応用できるようになる。											
[Course schedule and contents)]											
Zoomを利用してライブ授業を行う。 第1回 イントロダクション 教科書の概要を説明する。基本的な参考文献などを紹介し、授業の進め方と準備・発表の方法を 周知する。また、出席者の担当部分を決定する。											
第2回~第14回 教科書の精読 受講者は教科書の小節を分担し、その内容を報告するとともに、章末問題の解答を行う。 以下のようなテーマそれぞれについて2~3回の授業を行う予定である。											
1.成長す 2.市現場重 3.現場重 4.市現場重 5.結論 6.結論	i 視型(世界で(i 視型 ⁻	の環境 の市場 手段の	政策の諸 重視型手 実際	原理		経済学	1				
第15回 まとめ それまでの精読の成果をまとめ、残された課題や疑問点について全員で議論する。切りのよいと ころまで読了できなかった場合、この回を補充に充てることもある。											
								Cor	tinue to 環境経済・正		ゼミナール(2)

環境経済・政策論基礎ゼミナール(2)

[Course requirements]

前期のILASセミナー:環境経済・政策論との連続履修が推奨される。

[Evaluation methods and policy]

参加状況と担当箇所の報告内容と授業への貢献の程度の観点から平常点で評価する。個別の成績評 価基準は第1回目の授業で説明する。

[Textbooks]

Nathaniel O. Keohane, Sheila M. Olmstead ^PMarkets and the Environment, 2nd ed.¹ (Island Pr) ISBN: 978-1610916073

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

毎回事前に教科書を読んでおき、疑問点を整理した上で、授業に参加すること。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]